

令和元年9～10月の文書館月替展示について  
年貢の納めどき ー誰が？いつ？どこに？ー

1 展示概要

年貢(税)は、今も昔もわたしたちにとって大きな関心事のひとつです。しかし、年貢…と聞いて皆さんが想像するのはどんなシーンでしょうか。悪代官が領民から無慈悲に米を取り立てるような場面でしょうか。年貢という言葉は、認知度は高いですが、実情はあまり知られていません。誰がいつどこに納めたのか、どのようなものが納められたのかなど、年貢に対する素朴な疑問について、福井藩の事例を Q&A 形式で紹介します。

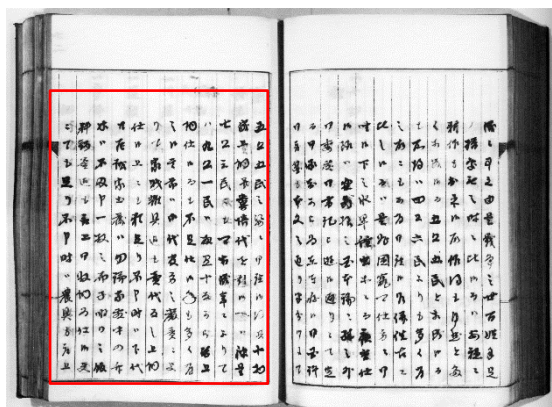
2 期間 令和元年8月23日(金)～10月23日(水) 文書館閲覧室

3 主な展示資料

年貢についての疑問	関連資料	備考(年代、内容、地域等)
年貢を納めた対象は幕府？福井藩？藩士？	「寺社并地方取中給知村別帳」松平文庫(福井県立図書館保管) A0143 - 20061	年未詳(1824年(文政7)か)、藩士の中でも、 <sup>じかぶ</sup> 地方取(600石以上)の知行地となった村のリスト
年貢にはどんなものがあったの？	「天保十二丑年御領分御成箇帳写」松平文庫(福井県立図書館保管) A0143 - 10129	1841年(天保12)、福井藩における年貢(本途物成、 <sup>ほんたものなり</sup> こものなり小物成等)が掲載されている。
年貢率はどのように決められたの？	「乍恐口上書を以奉願上候(凶作ニ付定免をやめ見免願)」白崎九兵衛家文書(個人蔵) A0021 - 00025	年月日未詳、困窮のため、 <sup>じようめん</sup> 定免(定率での年貢率)から <sup>けみどり</sup> 検見取(年毎に豊凶を考慮して年貢率を決定)への変更を願い出た資料
年貢収納の一連のプロセスは？	(天保八年河合鷲塚村年貢一件)加藤九左衛門家文書(個人蔵) A0057 - 00081	1837年(天保8)、免状(年貢を納入を命じる通知書)や納方目録(年貢の内容や納め方)が一綴になっている資料
年貢が納められない場合はどうするの？	「乍恐口上書を以奉願上候(洪水ニ付収納勘弁願)」加藤竹雄家文書(当館蔵) A0052 - 00010	年月日未詳、洪水被害のため年貢収納の免除を願い出た資料
年貢は農民にとって重かったの？軽かったの？	「福井藩役々勤務雑誌」松平文庫(福井県立図書館保管) A0143 - 10129	1915年(大正4)、幕末期に中根雪江・浅井八百里が福井藩の年貢の実情を松平慶永に説明した「御収納の次第書」等が収録されている。

- スライド展示 … 福井藩の年貢 Q&A
- パネル展示 … 福井藩の年貢こぼれ話
- タペストリー展示 … 福井藩領であった志比郷東古市村(現 永平寺町東古市周辺)と恐神村(現 福井市恐神町周辺)の検地絵図を複製展示

資料例



「福井藩役々勤務雑誌」

松平文庫(福井県立図書館保管) A0143 - 10129

五公五民の姿に御座候得共、小物成上納并糞培代を引候得ば彼是七公三民にも可相成、年によりては九公一民はさておき十ながら皆上納仕候ても不足仕候年も多く有之候、其節は御代官方の厳責によりて家財雑具迄も売払なし上納仕候上にも猶足り不申時は：

(意訳)  
年貢については七公三民どころか、年によっては九公一民、あるいは全てを上納しなければならぬ時もある。そのような時は代官の厳しい処置により、家財道具を売り払ってでも(年貢を)支払い、それでも足りなければ